

令和6年度 天栄村教育委員会グランドデザイン

天栄村基本理念

村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ

地域コミュニティを核とした天栄だからできる少人数教育

～目指す教師像～

- 子どもの姿に学び、授業力向上に励む教師
- 子どもの思いや願いに寄り添い、あたたかな支援ができる教師



～目指す子ども像～

- 主体的に学び、他者と協働的に取り組む子ども
- 自他を大切に、認め合い、感謝の気持ちを伝える子ども
- 強い体とたくましさを備えた子ども

第7次福島県総合教育計画

- 1 学びの変革
- 2 学校の在り方の変革
- 3 多様性を力に変える土壌づくり
- 4 福島を生きる教育の推進
- 5 多様な学びの場づくり
- 6 安心して学べる環境の整備

県中教育事務所スローガン

子どもの「ゆめ」、保護者の願いが
かなう教育の推進

「豊かなこころ」の育成

- ・ 道徳教育・人権教育の充実を図り、様々な差別や偏見の未然防止と豊かな情操や規範意識、社会性等を育む教育の実践。
- ・ 学校司書との連携を図った、読書意欲の向上と豊かな感性や創造力を育む読書活動の推進。
- ・ キャリア教育や体験活動、ボランティア活動を推進し、奉仕の精神や最後までやり抜く力を育むとともに、学ぶ意義や生きる意義を実感する学習の推進。
- ・ 不登校や問題行動等の未然防止のための、SCやSSWを活用した教育相談体制の整備・充実と子どもの居場所づくり・絆づくり、一人一人に寄り添った教職員のあたたかな関わり。
- ・ 不登校等児童生徒の学校復帰(社会的自立)支援及び学習機会確保の場としての「適応指導教室(ほっとルーム)」の活用・連携。
- ・ 幼児期からの、非認知スキルとしての忍耐力・集中力・判断力・自尊心等を育む教育の推進。
- ・ 自己肯定感・自己有用感を育む教育の推進。

「確かな学力」の向上

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、全教職員の組織的・協働的な授業実践。
- ・ ICTも最大限に活用した、「個別最適な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」の一体的な充実。
- ・ AIドリル「navima」の効果的な活用。
- ・ 各種学力調査等の結果分析に基づく、児童生徒一人一人の強みと課題の把握、実態に応じた、特に算数・数学科における学力向上のための具体的手立ての構築。
- ・ SDGsの視点を意識した探究活動の推進。
- ・ 少人数の強みを生かした授業づくりと指導力向上に向けた積極的な県中教育事務所指導主事や村教育委員会指導主事・教育アドバイザーの派遣。
- ・ 「ふくしまの『授業スタンダード』」の活用と、幼小中連携による授業交流や共通実践、授業研究の実施。
- ・ 「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」の活用と、家庭や地域との連携による学習習慣や生活習慣の確立。
- ・ 児童生徒の英語力向上(発信力強化)を目指した、幼小中連携による授業改善。
- ・ 外部人材活用による、小学6年生と中学3年生学習支援の実施。

「健やかな体」の育成

- ・ インフルエンザ等の感染症の拡大防止のための基本的な感染症対策の徹底。
- ・ 体力と運動習慣等の調査結果、日々の児童生徒の状況把握を基に、運動する機会の意図的設定と運動能力向上を図る体育活動の実施。
- ・ 「運動身体づくりプログラム」の効果的な実施と体育科指導の充実。
- ・ 部活動の内容・時間の適正化と外部指導者の活用。
- ・ 家庭と連携した「自分手帳」の効果的活用。
- ・ 地域学校保健委員会をいかした本村健康課題の解決。
(望ましい生活習慣の確立 食育の推進 歯科指導の推進:むし歯治療率の向上)
- ・ 地元の農産物を使用した給食を推進、栄養バランスのとれた給食の提供。

学校・家庭・地域との連携による教育の充実に向けた「4本柱」

天栄型コミュニティ・スクール

- 学校運営協議会の開催(年4回)
 - ・ 本村、各校園の課題把握と解決
 - ・ 教育課程の実施評価と承認
- 地域学校協働活動
 - ・ 地域の人材活用の調整
 - ・ 部活動地域移行の推進

愛村心を育む ふるさと教育

- キャリア教育・体験学習の充実
 - ・ 各校における「地域連携全体計画」の作成と実践、評価
 - ・ 地域の「ひと・もの・こと」に繰り返し関わる主体的・体験的な学習
 - ・ サマースクールてんえい
 - ・ ふるさと学び教室
 - ・ 村民の歌の歌唱

英語の村てんえい

- 英語教育の充実
 - ・ ALTの計画的派遣及びTTの充実
 - ・ オンライン英会話(QQE)の効果的実施
 - ・ BTHでの異文化体験学習
 - ・ 小学校高学年から英語検定受験への受検料補助
 - ・ 公営塾英会話教室・大学との連携
 - ・ 小中英語パートナーシップ事業の推進

つなぐ教育(幼小中連携)

- 「つなぐ教育授業研究会」の開催
 - ・ 村内全教員による授業参観と研究
 - ・ 幼小中連携による英語力の向上
- つなぐ教育推進会議・部会の開催
 - ・ 学校園間の教職員・児童生徒の交流
 - ・ 実態を踏まえた共通実践の推進

「地域で共に学ぶ 特別支援教育」の充実

- 実態や教育的ニーズに応じた支援
- ケース会議の充実
- 幼小中をつなぐ「個別的教育支援計画」・「個別の指導計画」の作成と活用
- 特別支援学校、村健康保健センター等の関係機関、SSW、SCとの連携
- 特別支援教育への理解を深め、指導法を学ぶ研修会の実施

「健全な心身の基礎を培う 幼児教育」の推進

- 年齢や発達の過程を踏まえた指導計画の作成
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を基にした研究の推進(聞くこと・表現すること)
- 幼小連携研修会の開催による、校種を接続する機会の設定
- 3歳児検診と就学児健康診断の間を埋める「5歳児教育支援・相談」